

令和5年度 自己評価書

学校名

北海道虻田高等学校

1 本年度の重点目標

- (1)個性と創造性を伸ばすとともに、自ら学ぶ心を持った生徒を育てる。
- (2)礼儀正しい生活習慣の定着とともに、奉仕の心を持った生徒を育てる。
- (3)社会の変化に主体的に対応し、自己実現を図る意欲と能力を育てるとともに、自立の精神に溢れ、社会的責任を果たす心を持った生徒を育てる。
- (4)何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ健康な身体と生命を尊ぶ心を持った生徒を育てる。

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	シラバス等を活用しながら教科指導目標を明確にし、学習指導法や評価法等の研究に努めている。	A	A	学ぶ喜びを実感し、学習意欲を持続させることができるよう指導方法の工夫に努める。また、企業等と連携した地域社会の活性化(商品開発等)を図り、生徒に地域社会の発展等に貢献することの意義や成果を実感させる取組を図る。
	各教科等の授業の状況	基礎基本の定着を図るために適切な指導を行っている。	A	A	
		生徒個々の学習状況に配慮し、わかる授業の実施に努めている。	A	A	
		生徒が家庭学習に取り組むような工夫をしている。	B	B	
生徒指導	生徒指導の状況	生徒に基本的な生活習慣が身に付くように適切な指導を行っている。	A	A	安心安全な学校づくりに努めるため、いじめの未然防止、早期発見、組織的対応の取組を実践するとともに、スクールカウンセラーによる面談等も含めたチーム学校で生徒を見守る体制づくりに努める。
		生徒指導にあたり充分に保護者と連携をとっている。	A	A	
	教育相談の状況	いじめ防止に向けた取組や発生時の対応を適切に行っている。	A	A	
		生徒の様々な悩みに対応した適切な指導を行い、親身になって教育相談を行っている。	A	A	
進路指導	進路指導の状況	3年間を見通した系統的・計画的な進路指導を行っている。	A	A	学年間の連携を密にするとともに、指導のねらい等を明確にするなどして生徒のキャリア形成につながる効果的な指導に努める。
		進路実現のため生徒や保護者との面談等を充分に行っている。	A	A	
		進路に関する情報や資料等が効果的に活用されている。	A	A	
特別活動・健康・安全指導	特別活動の状況	生徒はボランティア活動に積極的に参加している。	A	A	地域と連携を図り、社会貢献や体験的な学習を通して、生徒一人ひとりの自己肯定感を高めるとともに、自然災害に対する危機管理能力の向上のため、外部機関との連携を強化しながら防災教育に努める。
	保健・安全指導の状況	健康管理や安全指導を適切に行っている。	A	A	
教職員資質向上	研修の状況	校内研修は充分に実施している。	A	A	教職員間のコミュニケーションを高め、互いに学び合う意識を醸成するとともに、課題の共有とやりがいを実感できる職場環境の充実に努める。
	働き方改革の推進	働き方改革を意識し、調和のとれた生活の実現を図るため、ワークライフバランスに取り組んでいる。	A	A	

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- 1 教育課程・学習指導について、ICTを活用した協働的な学びの充実に努める。
- 2 生徒指導について、安心安全な学級づくりに努めるため、いじめの未然防止、早期発見、組織的な対応に努める。
- 3 進路指導について、生徒のキャリア形成につながる効果的な指導に努める。
- 4 健康・安全指導について、危機管理能力の向上のため、外部機関との連携を強化し、防災教育に努める。
- 5 教職員資質向上について、働き方改革を推進するとともに、互いに学び合う意識を醸成し、やりがいを実感できる職場環境の充実に努める。

令和5年度 学校関係者評価

1 本年度の重点目標

- (1)個性と創造性を伸ばすとともに、自ら学ぶ心を持った生徒を育てる。
 (2)礼儀正しい生活習慣の定着とともに、夢を叶える心を持った生徒を育てる。
 (3)社会の変化に主体的に対応し、自己実現を促す態度と能力を育てるとともに、自立の精神に溢れ、社会的責任を果たす心を持った生徒を育てる。
 (4)同事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ健康な身体と生命を重んじる心を持った生徒を育てる。

重点目標
の適切さ

よいと思う

学校名 北海道虻田高等学校

組織名 学校評議会

評価者

学校評議員5名

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果 の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方 策の適切さ
大項目	中項目	小項目						
教育課程・ 学習指導	教育課程 等の状況	シラバス等を活用しながら教科指導目標を 明確にし、学習指導法や評価法等の研究 に努めている。	A	A	学ぶ喜びを実感し、学 習意欲を持続させるこ とができるよう指導方 法の工夫に努める。ま た、企業等と連携した 地域社会の活性化(商 品開発等)を図り、生 徒に地域社会の発展・ 充実に貢献することの 意義や成果を実感させ る取組を図る。	A	A	A
	各教科等の 授業の状況	基礎基本の定着を図るために適切な指導 を行っている。	A	A				
		生徒個々の学習状況に配慮し、わかる授 業の実施に努めている。	A	A				
		生徒が家庭学習に取り組むような工夫をし ている。	B	B				
評価者の 意見等	・商品開発とともに、子どもたちが原価や販売価格などを決定する実践的な活動を取り入れてはどうか。 ・放課後の講習等で個々に応じた指導がされている。							
生徒指導	生徒指導 の状況	生徒に基本的な生活習慣が身に付くように適 切な指導を行っている。	A	A	安心安全な学級づくりに 努めるため、いじめ の未然防止、早期発 見、組織的対応の取組 を実践するとともに、ス クールカウンセラーに よる面談等も含めた チーム学校で生徒を見 守る体制づくりに努め る。	A	A	A
		生徒指導にあたり充分に保護者と連携を とっている。	A	A				
	教育相談の 状況	いじめ防止に向けた取組や発生時の対応 を適切に行っている。	A	A				
		生徒の様々な悩みに対応した適切な指導 を行い、親身になって教育相談を行っている。	A	A				
評価者の 意見等	・SNSの利用方法、マナーについては家庭の指導によるものが多いと考える。家庭の協力が不可欠である。 ・生徒に応じたきめ細かな指導がされていると感じている。							
進路指導	進路指導 の状況	3年間を見通した系統的・計画的な進路指 導を行っている。	A	A	学年間の連携を密に するとともに、指導の ねらい等を明確にする などして生徒のキャリ ア形成につながる効果 的な指導に努める。	A	A	A
		進路実現のため生徒や保護者との面談等 を充分に行っている。	A	A				
		進路に関する情報や資料等が効果的に活 用されている。	A	A				
評価者の 意見等	・地元での就職率が高く、地域に貢献できる人材を育てている。今後お願いしたい。							
特別活動・ 健康・安全 指導	特別活動 の状況	生徒はボランティア活動に積極的に参加し ている。	A	A	地域と連携を図り、社 会貢献や体験的な学 習を通して、生徒一人 ひとりの自己肯定感を 高め、自然災害に対し ては、危機管理能力の 向上のため、外部機関 との連携を強化し、防 災教育に努める。	A	A	A
	保健・安全 指導の状況	健康管理や安全指導を適切に行っている。	A	A				
評価者の 意見等	・自然災害の危機管理意識を高める防災教育は地域柄、大変重要であることから引き続き外部機関と連携した教育を行ってほしい。							
教職員 資質向上	研修の状 況	校内研修は充分に実施している。	A	A	教職員間のコミュニ ケーションを高め、互 いに学び合う意識を醸 成するとともに、課題 の共有とやりがいを実 感できる職場環境の充 実に努める。	A	A	A
	働き方改 革の推進	働き方改革を意識し、調和のとれた生活の 実現を図るため、ワークライフバランスに取 組んでいる。	A	A				
評価者の 意見等	・勤務先においても、働き方改革が推進され、虻田高校と同様にペーパーレス化が進んでいる。							

令和5年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1) 個性と創造性を伸ばすとともに、自ら学ぶ心を持った生徒を育てる。
 (2) 礼儀正しい生活習慣の定着とともに、奉仕の心を持った生徒を育てる。
 (3) 社会の変化に主体的に対応し、自己実現を図る意欲と能力を育てるとともに、自立の精神に溢れ、社会的責任を果たす心を持った生徒を育てる。
 (4) 何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ健康な身体と生命を尊ぶ心を持った生徒を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程・学習指導	・シラバス等を活用しながら教科指導目標を明確にし、学習指導法や評価法等の研究に努める必要がある。 ・生徒の主体的な学習態度の育成、学習意欲の向上を考える方策が必要である。	・教育課程・学習指導において、適切な取組がされている。学校内の授業だけでなく、校外での授業(実践)も大切と思うことから、引き続き体験的・実践的な学習等を継続してほしい。
改善方策	生徒の学習習慣の定着を図る方策を検討するとともに、引き続き、教科横断的な学習指導及び体験的・実践的な学習等から生徒の成長を促すことに努める。	
生徒指導	・いじめの未然防止を含めた教育相談体制の充実を図る必要がある。 ・SNS利用に関するトラブルについて、未然防止を徹底する取組が必要である。 ・生徒会を中心に昼休みの体育館使用規定がつけられた。	・生徒指導において、適切な取組がされている。 ・SNSの利用方法などは家庭の指導によるものが大きいと思う。家庭への協力が必要ではないか。
改善方策	安心安全な学校づくりに努めるため、いじめの未然防止、早期発見、組織的対応の取組を充実させる。また、生徒の主体的な行動を促すことに努める。	
進路指導	・個々に応じた情報提供、進路指導が概ねできている。 ・個々に応じた進路指導、学び直し、夏期講習等の強化をしていく必要がある。	・教職員が親身になって指導している結果が現れている。地元での就職率も高く地域に貢献している。
改善方策	学年間の連携を密にするとともに、指導のねらい等を明確にするなどして生徒のキャリア形成につながる効果的な指導に努める。	
特別活動・健康・安全指導	・非常時の安全を確保する危機管理のマニュアル点検・見直しを随時行う必要がある。	・自然災害の危機管理意識高める防災教育は場所柄、大変重要である。
改善方策	自然災害における危機管理能力向上のため、外部機関との連携を強化した防災教育に努める。	
教職員の資質向上	・校内外の研修を充実させるとともに、働きやすい職場環境づくりに努める。	・仕事上のコミュニケーションスキルやトラブルの解決など社会人としての基礎力を身につけさせてほしい。
改善方策	互いに学び合う意識を醸成し、やりがいを実感できる職場環境の充実に努める。	
公表方法	・「自己評価書」「自己評価アンケート結果」「生徒アンケート結果」「保護者アンケート結果」「地域住民アンケート結果」を学校評議員、PTA役員に公表する。 ・「自己評価書・学校関係者評価・学校評価報告書」をWebページに掲載する。	

3 添付資料

自己評価書・学校関係者評価、自己評価アンケート結果、生徒アンケート結果、保護者アンケート結果
 地域住民アンケート結果